

文部科学省による新しい部活動改革方針

文部科学省は、9月1日、「第4回学校における働き方改革推進本部」を開催し、部活動の改革などについて議論を行いました。部活動に関する議論の内容が、同省HPに掲載されました。資料を抜粋して、お知らせします。

特に「部活動」に関しては、生徒にとって望ましい部活動の環境の構築と学校の働き方改革も考慮した更なる部活動改革の推進を目指し、その第一歩として、「令和5年度以降、休日の部活動を段階的に地域移行」を進めていく方向性を示しました。

具体的には、休日に教科指導を行わないことと同様に、休日に部活動に携わることを希望しない教師は部活動に携わる必要がない環境を構築することや、部活動の指導を希望する教師については兼職兼業の許可を得た上で、引き続き休日に指導を行うことができる環境を構築すること、休日における地域のスポーツ・文化活動を実施できる環境を整備すること等を示しています。

今後は、それらを着実に進めていくために、拠点校（地域）における実践研究を実施し、生徒にとって望ましい部活動と教師の負担軽減を両立できる部活動改革を進めていきます。

（以上 文部科学省HP）

本クラブは、長与町のスポーツ環境を支援することを、目的の一つとしています。この方針が、進められる場合は、微力ながらお手伝いをしたいと思います。「部活動との融合」を現在、検討していますが、このことが何らかの糸口になるのではないかと考えています。

幼児期の運動が、その後の運動能力に大きな差を生む

幼児期の運動習慣が、その後の運動能力の向上に大きく影響することを実証するデータが、スポーツ庁「平成28年度体力・運動能力調査」で発表されています。

その結果から、男女ともに入学前に外遊びをしていた頻度が高い子供ほど体力テストの合計点が高くなっていることが分かりました。入学前に週6日以上外遊びをしていた子供と、週1日以下の子供とでは、10歳男子で5点、女子で8点程度の大きな差が出る結果となりました。やはり、幼少期から運動する習慣がある子供は、体力・運動能力ともに高い傾向にあると言えます。



教室募集状況 (9月時点)	募集中：親子卓球／サッカー／フィットネス教室／親子テニス 募集停止：親子バドミントン／チャ・リーディング
--------------------------	---

特定非営利活動法人総合型SC長与スポーツクラブ

長与小学校体育館内 HPアドレス <http://www.nagayosc.sakura.ne.jp/NSC>
TEL/FAX 095-865-9511 メールアドレス nsc@jewel.ocn.ne.jp

事務所開設時間
月・水・金
14:30～16:30

新しい生活様式

まめに手洗い、手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気
身体的距離の確保 「3密」の回避（密集・密接・密閉）
毎朝の体温測定、健康チェック

